

令和元年第2回三浦市教育委員会臨時会会議録

○日 時 令和元年8月13日(火) 午後1時30分～午後2時5分

○場 所 三浦市役所第2分館 教育委員室

○次 第

- 1 開 会
- 2 署名委員の指名
下里矩生委員、越智康一委員
- 3 審議事項
(1)議案第20号 三浦市学校教育ビジョン(案)について
- 4 閉 会

○出席委員(5名)

教 育 長	及 川 圭 介
教育長職務代理	下 里 矩 生
委 員	玉 井 恵 理
委 員	廣 瀬 牧 実
委 員	越 智 康 一

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	君 島 篤	教 育 総 務 課 長	増 井 直 樹
学 校 教 育 課 長	高 梨 真 一	学 校 給 食 課 長	武 田 健 二
文 化 ス ポ ー ツ 課 長	塚 本 孝 治	南 下 浦 市 民 セ ン タ ー 館 長	松 井 住 人
初 声 市 民 セ ン タ ー 館 長	蛭 田 一 成		

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー 長 島 正 紀

○傍 聴 (1名)

○及川教育長　　こんにちは、只今より令和元年第 2 回の三浦市教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の臨時会の会議録署名委員に下里職務代理と越智委員を指名したいと思います。よろしくお願い致します。それでは次に進みたいと思います。次第 3 「審議事項」に入りたいと思います。

○及川教育長　　議案第 20 号 三浦市学校教育ビジョン（案）について議題といたします。
事務局より説明をお願いします。

○増井教育総務課長　　ご検討頂いております三浦市学校教育ビジョンにつきまして事務局の考える最終案を本日お示し致しました。前回お示ししましたビジョン（案）に総合教育会議で頂いたご意見、またパブリックコメントで頂いたご意見を加味いたしまして若干修正を加えております。

ご説明を申し上げます。

まず総合教育会議の中で目次を入れること。また、章立てについて少し検討してわかり易くした方がいいという声を頂きまして、1 章から 3 章までということに致しました。

1 章目に学校教育ビジョンをなぜ策定するのかということ、2 章を学校教育ビジョンが目指す子どもたちの育みといたしました。

3 章として学校教育ビジョンとして進めていくことを記載しております。

また、小中一貫教育について分かりくさという部分も頂きました。名称等変更することも検討いたしましたが、小中連携教育といいますと今までも進めているもの、そちらももう少し一歩進めてという事務局の思いがございまして一貫教育は使わせて頂きたいと思いました。

そのために 9 ページ目に学校教育ビジョンでいいます小中一貫教育とは義務教育学校、小中を一つの学校とすることではないということの説明として入れたこと、それから 12 ページ目に三浦市の目指す小中一貫教育というものを図として示すということで義務教育学校とは違うというもので小中の連携した一貫教育を進めていきたいということを分かりやすくしたものでございます。

3 点目は初声地区においても協議会を立ち上げるということでございます。

そちらは 15 ページ目の(5)初声地区において今後、会議体を立ち上げますということを目記いたします。こちらの記載は小中連携教育になっておりますけど、小中一貫という記述に修正させていただきたいと思っております。

その他、初声地区ではモデル的に小中一貫教育を早急に進めるべきだのご意見もございましたので、その下の 2 番の(5)にも連携した取り組み、初声地区では連携した取り組みをモデル地区として先進的に実施するという記載を加えてございます。

その他パブリックコメントでいろいろなご意見をいただきました。

多くが今後学校教育ビジョンを進めていく中でいろいろ検討し解決すべきことについてのお

考えを頂いたものではないかと思っております。

そちらへの対応と致しまして、10 ページ目、こちらに学校教育ビジョンを今後実現するにあたって、通学の問題が課題としてあること、また、使用しなくなる学校の施設管理についても市としてとらえる大きな課題であること、9年間を見通した教育課程の編成については地域と協働していくこと、こちらは効果を十二分に得るためには不可欠であり大切なことと考えており、一緒に進めていきたいということを記載し、14 ページ目の具体的方策の1に「子ども、保護者、教職員、地域などの意見を十分に検討し、協議する場を設けながら令和7年度までを目途に、1中学校区1小学校の教育体制をつくることを目指します。」に改めております。

みなさまのご理解を得ながら今後いろいろ検討しながら進めていくものであるということを加えさせて頂いたところでございます。

その他基本的なつくりかたにつきましては変更ございません。こちらで事務局としては最終案といたしたいと思っております。協議をよろしくお願い致します

○及川教育長 説明は終わりました。

これまでのパブリックコメントの意見、総合教育会議で委員のみなさんから出された意見などを考慮して追加修正行ったということであります。

ご質問、ご意見等ございましたらお出しいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○玉井委員 本日、案の決定をするということですね。

今後のスケジュールについて教えて頂きたいと思えます。

○増井教育総務課長 本日ご審議いただきまして、教育委員会としてこの案でいこうということを決めて頂きましたのちに16日に政策会議という市内部の会議がございまして、教育委員会の案を示しまして市としての政策決定を致します。その後、決裁行為という事務処理を経て最終的にはこの教育ビジョンを決定するという作業がございます。こちらを今月末位にその作業を終えまして公表したいと考えております。

○及川教育長 今週の金曜日の政策会議を経て市の決定になるということです。

市長、そして他部局の関係の方にも承知をして頂いてということになりますので、今後具体的な取り組みを行う上では、教育委員会のみならず市長部局局、市長とももちろん連携をしながら進めていける体制がとれるとそういうことになるわけです。

その他いかがでしょうか。

○越智委員 9ページ、網掛けの注釈がついた部分ですけど必要なかと思っている部分が連携という言葉なんです。小中一貫教育というのは義務教育学校ではないということだけではないかと思っております。ここで連携とまた入れると、捉え方が混乱するのではないか。あくまでもこのビジョンでうたってるのは小中一貫ですよということ。小中一貫教育とは義務教育学校とは違いますよということだけを押さえれば、連携ではないんですかと言っても、そういう部分ももちろん含みますと言うような形で説明はできるのではないかなというのが一つの意見です。

いかがでしょうか。

○及川教育長 ありがとうございます。

今のご意見に関してありますか。

○増井教育総務課長 確かにここで小中一貫教育とは小学校と中学校を一つの学校とするものではないということに、そちらだけをお伝えしたほうがより分かりやすいですし、それでも伝えたいことは十分に伝えられると思いますので、そのようにしたいと思います。

○越智委員 連携ということを出してしまうと今までと同じじゃないですかと。今までの延長だけじゃないですかと。なぜわざわざビジョンにしなくちゃいけないんですかという、そういう捉え方になっていく恐れがあるのではないのかなと思いましたので申し上げました。

○及川教育長 ありがとうございます。他の委員さんはどうですか。連携をあえていれない、義務教育学校と区別するというをここではっきりさせればいいのではないかということですけれども。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長 では、そのようにいたします。その他いかがでしょうか。

○越智委員 つづけてよろしいでしょうか。次のページの10ページ目、実現のため、網掛け部分ですけれども実現のために大切にすることという所がどうもすとんと落ちないというか大切にすることというのはみなさんのお考えをしっかりと聞き協力しながら進めますよということが一つ、「教育課程に期待される効果を十二分に得るために協働していくことが大切です。」それから「経済的負担増加の課題が生じます。」課題が生じますということは分かるんですけど、「実現に向けて大切にすること課題が生じます。」で、どうするんですかっていうふうに思ったんですね。課題が生じますからこの件についてはこうします。こういうふうに考えていきますとか、施設管理についてもきちんと考えていきますよ、でもそこでは学校と地域が協働していくんですからってそういうことではないと思うんですよ。施設管理の方法を考えていく方向については。下の部分はもちろん三段目のそのみんなてみんなの意見を聞いて大事にしていけますよというのは、それはその通りだとこれは全部に関わることだろうと思うんですけども、みなさんの意見を聞いて反映していくということと、上の2つはちょっと違うんじゃないかなと思ってらるんですね、実現を可能にしていくために、実現を大切にするのであれば経済負担をどういうふうに考えていくんだとか、あるいは施設管理をどういうふうにしていくんだとか、きちんとうたわれてないといけないのではないかと思ったんですけども。

○増井教育総務課長 そのあたりに関しましてやはり色々なご意見を頂きながら課題を解決していくということが必要ではありますが、この中には解決していきますとまでは書いてはございませんでした。ご協力を頂きながら進めることを大切にするという意味の記述にしてござい

ます。こちらに列記しました課題については地域協議会等で検討していくものだと考えております

○越智委員 実現を可能にしていくためには2つだけではないと思うんですよ。一番下のことは大前提です。みなさんの意見を大事に吸い上げていく、生かしていくということで、だけど上の課題というのは2つの課題、課題2つですよね施設のことと。

○増井教育総務課長 そうです。大きなところですよ。

○越智委員 保護者負担を軽減する方向を書くと、それ以外にも色んなことを考えていかななくてはいけない、実現のためには項目はいろいろあるのではないかなと私は思っているんですね、ひとつは、この2つについては色々な意見を聞きますというようにしているのはなんでなのかなということなんです。例えば小中一貫をやることについてもそうだし施設管理についてもそうだし保護者負担についてもそうだし色々やっていかななくてはいけない実現のためにはクリアしていかななくてはいけない事はたくさんあるはずなんですよね。これを全部聞いていかななくてはいけないという前提はあると思うんです。ことさらこの2つだけを実現のために、生じます不可欠ですとしているのはここだけ重くあたっているのかというふうに感じられます。

○増井教育総務課長 ここで特だしにして大きく考えていますよとしたということについては、パブリックコメントの中でそのことに対する意見が多かったというところがあります。そのことについてはやはりこちらとしても重く受け止め、これはしっかりと考えていきますということを記載しました。

○及川教育長 このことはパブリックコメントもそうなんですけれど市P連のOBの方も含めてトーク&トークを先日行いましたけれど、その時などにも多く出ていました。中心的な話の中身として出ていた事なので、これだけではないというのはもちろんそうなんですけれど、これが中心的だったということでここに2つ挙げたということです。ですからこの他にもあるけれどもという少し幅を持たせた書き方をするということもありかなと思います。

○越智委員 そうだとすると文章のたてかたを、様々な課題があつてこういうこともあるし、こういうこともあるしその他にも色々解決していけなくちゃいけない不可欠なものはたくさんあるんだけども十分お聞きしながらというふうな流れにしたほうが良いのではないかと思います。

○及川教育長 これだけではないということ。

○越智委員 そうなんです。伝えていってこれ以外のこともたくさん吸い上げていくよというふうな受け止め方が、それを文章にしたほうが良いと思うんです。

○及川教育長 広く聞いていこうという姿勢を示すということ。ほかにもたくさん課題に思っ

てる方はいるだろうから、そういう方の意見も聞き入れながら丁寧に対応していきますよと捉えられるような書き方にしたほうが良いという事ですね。

○越智委員　そうですね。例えば私が現場の先生に聞いても現状ではなかなか相互乗り入れといっても難しいとか、パブリックコメントにも部活の問題とかそれぞれの立場でそれぞれのことを心配されてる事があると思うんですよ。ですからその幅を持たせて、みんなそれぞれを吸い上げていくというか、そういうふうな文章になるといいなと思いました。

○及川教育長　そのことについて、文章については再検討ということでお願いします。

加えて申し上げますと、経済的な部分等については、当然なにかしら手立てはとっていかなければいけないというのは、これまで市長などとお話してきた中でも出てきていることではありますけれども、まだ具体的なこのようにしますという言い方は出来ない段階なので、そこは書き方としては、具体的にはなりえないと思うんですけど色々な課題に対しては丁寧に対応していくというような、そういうことがきちんと伝わるような書き方にしたいと思います。

その他いかがでしょうか

○越智委員　5ページの網掛けの部分なんですけれども、語尾のところだけです。ここだけが「みられた」となっているのでも「みられました」とか統一したほうが良いと思います。

○増井教育総務課長　変えさせていただきます。

○越智委員　もう1つ続けまして14ページ目。

具体的方策の所で子ども、保護者、教職員、地域などの意見を十分に検討してというふうになっていますが、この文章のことではなくてですね子どもの意見も保護者の意見も教職員も地域の意見も聞く、聞いたら協議する場を設けるというふうなことになりますよね、この文章だと。

例えば子どもの意見というのはどういうふうにどの場で設けるんですか。どういうふうな捉え方をすればいいんですか。

○増井教育総務課長　1つの案としては、先日トーク&トークというものを行ったんですけどその中で一度、子どもにも何らかの段階でアンケートをとるべきではないかと意見もございました。その中で市長もそれは是非やった方がいいなという発言もございまして、今後そのような機会を設けたいと思っているところでございます。

○及川教育長　三崎中学校と上原中学校の統合を行ったときも統合するのが決まった後にどのような新しい三崎中学校をつくっていきたいかということで子どもの意見を聞いたということがあるんですね。その段階ということでは今後検討していく必要があると思いますけれども、子どもたちもやはり自分たちのことでありますので、それを前向きに捉えられるようなそんな意見を聞きながら子どももどのような学校になっていくかということを楽しみに希望を持てるような、そんな環境を作っていければいいかなと思っておりますけれども。

○越智委員 アンケートを考えていますか。

○及川教育長 アンケートといいますが、○×のようなことはなかなか難しいですけども、どのような学校を作っていきたいのか、そんなことを子どもから聞ければいいかなと思いますけれども。

○玉井委員 子どもからということではアンケートではなく子どもとのトーク&トークみたいなそんな取り組みなどは考えにはないのでしょうか。

○君島教育部長 こちらの文章については子どもとの協議する場を完全に否定するものではないですが、基本的には十分に検討し、のところで切れているのが文章の作りだというふうにご理解いただければと、ですから子どもからの意見これについては十分に検討しますし、地域などの意見も十分に検討しますが、それらを含めた協議する場を設けるということにはなっておらないという文章になっております。

○及川教育長 協議する場というのはこれまでの中では地区協議会というのが1つあると思うんですね。それとこれまでも市P連に対しての説明会、あとトーク&トークを実施してきましたけれども、やはり他の市民の方に対しても説明するような機会を是非設けてほしいというようなお声もありましたので、それに関しましては私のほうで100回でも200回でも必要ならば説明する機会を設けていきますというふうなことも言っていますので、地区協議会も含め、これまで設置することを公表してきている地区協議会を含め、説明が必要な機会があればそういうことに対しても積極的に答えていきますと、そんな捉え方で見て頂ければと思います。

○越智委員 やはり目指すものですね、十分に教育的な効果が得られるものにしていくためには、みんなで頑張って作っていきましょうというふうな意識にどうやって醸成していくかとか、それがないと一部の行政が勝手にやってるだけだろうみたいな受け止め方になったり、マイナス的な捉え方をされたり足並みが一丸となってやってないような事になってくると十分な効果がなかなか得られないのでこの部分で、協議したり、説明したり、理解を得たりというところの作業が十分丁寧に、しかも、みんなでやっていきましょうという意識になるような、取り分け学校現場の先生方が働き方改革という課題がある中で、どんどん負担感ばかり増してるじゃないかみたいになっていくと受け止め方が逆になっていく恐れもありますので、十分みんなで一丸となってこのビジョンを達成していきましょう、新しい三浦の教育を作っていきましょうとなるような協議を是非お願いしたいということでございます。

○及川教育長 ありがとうございます

今の越智委員のご意見、とても大切な部分だと思ってるんですね。この小中一貫教育を進めるにあたって、そのスタートの時点でご理解いただいて、それに対して前向きな姿勢を持って頂ければ一番いいわけですけども、統合することがゴールではないということはずっと言ってきましたけれども、やはり統合した後にはどういったプラスの効果が出てくるかということを実

感してもらうことがその後さらに積極的な捉えをして頂ける、前向きな捉え方をして頂ける重要な部分ではないかなと思っています。

効果を表すには学校の中でどれだけ教育の質の向上を見せることが出来るかということが大切だと思うんですが、それについてやはり先生がどこまで積極的になれるか。働き方改革うんぬんということも当然あるわけでそのことについては教職員の配置などについても教育委員会として配慮していかなければいけない事だとは思いますが、そういうことを教育委員会ともしつつ、先生方に子どもたちを健やかに育てていくためには小学校中学校9年間を通して、小学校の先生も中学校の先生も一緒に子どもたちを見ていく育てていくんだということが大切なんだということをやはりきちんと認識してもらうことが大切だと思っていて、そのための小中一貫教育の必要性、重要性ということについては例えば市の教育研究会、4月に総会がありますけどもその時の講演会などに小中一貫教育の有効性などについて進め方などについての内容の講演会を計画していく、先生たちに同じレベルで理解して頂きながら足並みを揃えて取り組んでいけるような、そういう環境をまず整えながら三浦の教育の先生方学校現場から盛り上がっていくようなそんな体制がとれるようなことについては十分に進めていきたいと思っています。

○及川教育長 その他いかがでしょうか。

○廣瀬委員 今の9年間を見通した教育ということで、2ページの策定の所に戻ってしまいますが、策定の背景に、人口のこととか三浦市の現状というようなこととか入っていているんですけど、そういう9年間の一貫した教育というのは多分、国も推奨してる部分だと思うんですね。なので、こういう部分で三浦市の現状だからこうなっている中にも、国としてもそういうことを推奨しているんだっていうような記述があっても、最初のところにそういうものがあったらいいのかなって、それを踏まえてこれを読み取ったときに三浦市が勝手にと言いは変ですけども、それは国の考え方や推奨によるものも背景にあるんだなという見方も出来るかなという気がしました。

○及川教育長 今の点に関しましてどうでしょうか。国としてもそういう方向にあるよというような事を加えると三浦市がこれを推進していく背景が厚くなるのではないかということですが。

○高梨学校教育課長 今委員がおっしゃられたことは最もだと思います。加えることが出来るか検討してみます。

○及川教育長 今のことについては確認をさせていただいてということで対応をさせていただきます。その他いかがでしょうか。よろしいですか。

○及川教育長 本日頂いた意見を入れ込んだものをこれでという事を見て頂いて、それを政策会議に提出することになりますけれども、そんな進め方でよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長　その他にないようであればお諮りしたいと思います。

議案第 20 号三浦市学校教育ビジョン案について、一部修正して教育委員会の案とすることについてご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。ご異議ないようですのでそのようにしたいと思います。それでは本日の議案については以上ですので、これもちまして令和元年第 2 回三浦市教育委員会臨時会を閉会します。ありがとうございました。

◇ 午後 2 時 5 分 閉会 ◇
